

# 四万十町の公共交通の 現状と課題について

- 1.四万十町の現状（人口・高齢化率）
- 2.既存の輸送サービスについて
- 3.利用状況について
- 4.今後の課題



# 1. 四万十町の現状(人口・高齢化率)

# 四万十町の人口①

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校数	19	18	→			15	13	12	→				
中学校数	6	→						→		5	→		

【基準日】 毎年5月1日現在 ※休校を除く



	四万十町			
	十和地域	大正地域	窪川地域	
人口	17,359人	2,652人	2,435人	12,272人
構成比	—	15.3%	14.0%	70.7%
世帯数	8,570世帯	1,254世帯	1,176世帯	6,140世帯
面積	642. <sup>30</sup> km <sup>2</sup>	164. <sup>71</sup> km <sup>2</sup>	199. <sup>39</sup> km <sup>2</sup>	278. <sup>20</sup> km <sup>2</sup>

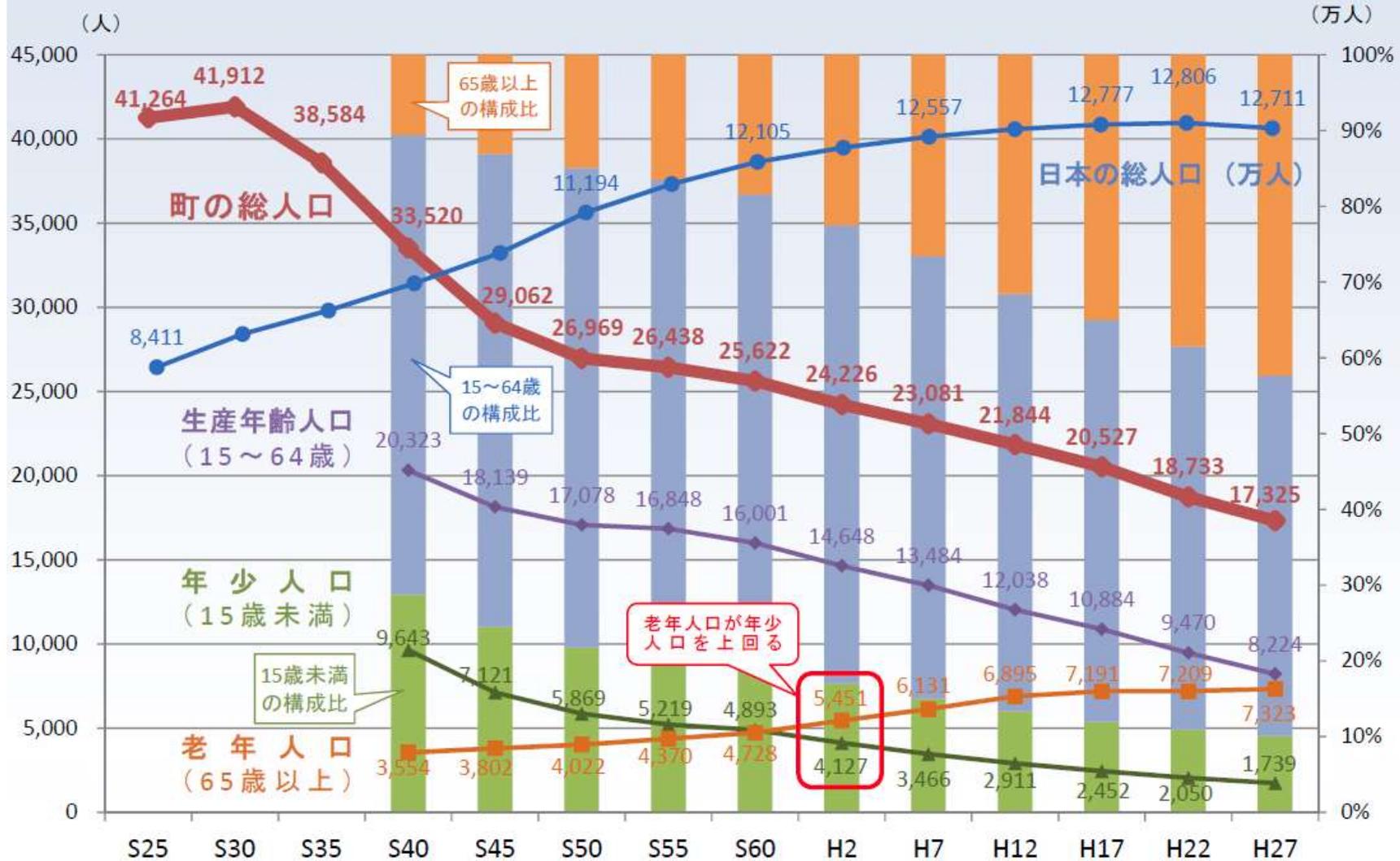
【出典】 平成30年6月末住民基本台帳

	児童生徒数	施設数				
		計	十和	大正	窪川	
保育所	町立	273	8	2	2	4
	私立	226	3			3
町立小学校	673	12	2	2	8	
町立中学校	379	5	1	2	2	
県立高校	140	2		1	1	

【基準日】 平成30年5月1日現在 ※休校を除く

# 四万十町の人口②

1955(昭和30)年の41,912人をピークに、1975(昭和50)年までの間に総人口が大幅に減少  
 老年人口(65歳以上)は、1990(平成2)年に年少人口を上回り、2015(平成27)年には42.3%に達している

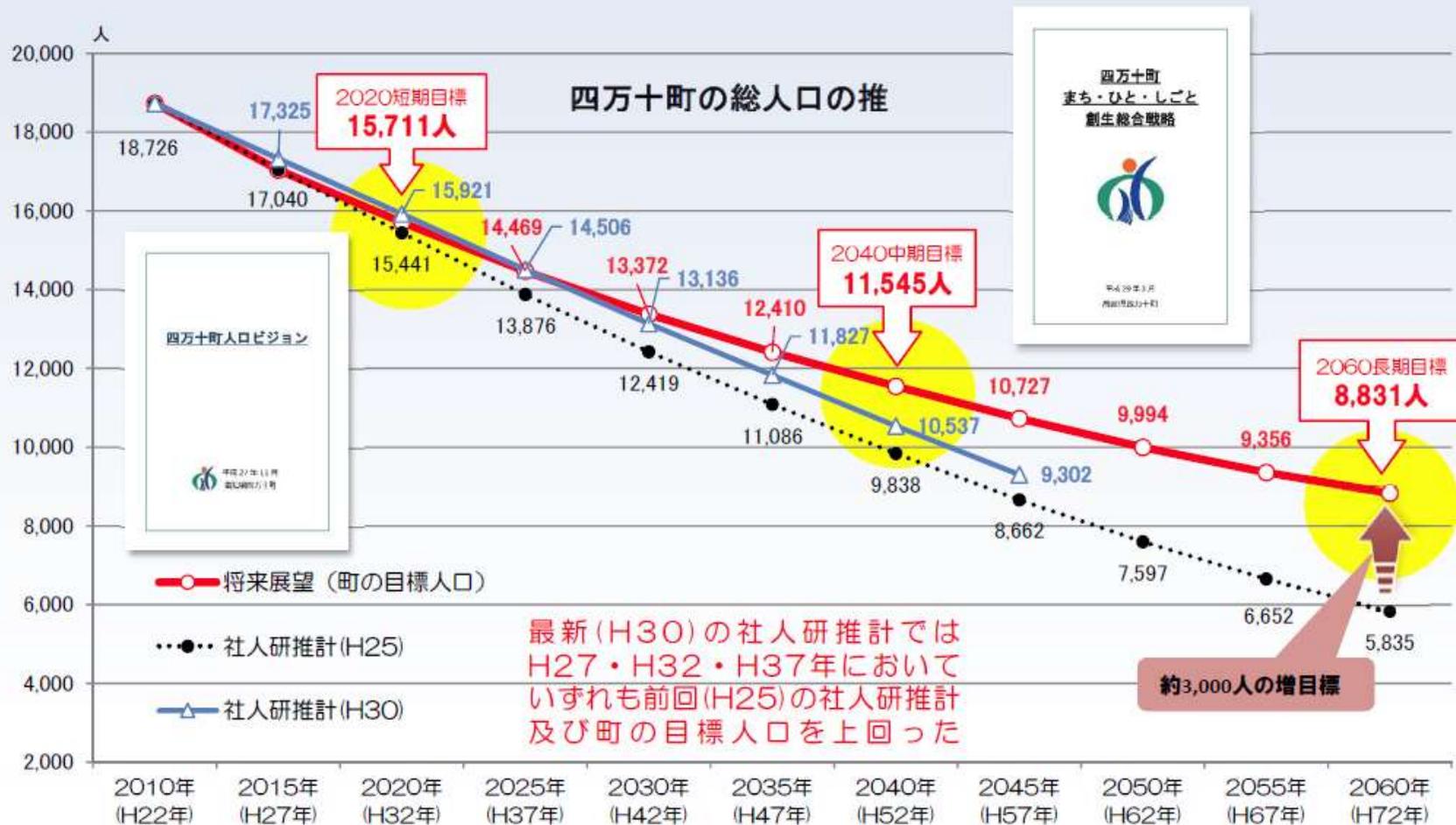


# 四万十町の人口③

## 四万十町人口ビジョン / Ⅲ. 本町の将来展望 / (4) 人口の将来展望 / ② 短期・中期・長期の目標人口 (平成27年11月策定)

■国立社会保障・人口問題研究所(通称:社人研)が公表した推計人口の...

「計画策定(目標設定)時における推計人口(平成25(2013)年推計)」と「最新の推計人口(平成30(2018)年推計)」の比較



## 2.既存の輸送サービスについて

■ 鉄道

路線名称	町内の運行区間	運行事業者
土讃線	影野駅 - (2 駅) - 窪川駅	四国旅客鉄道株式会社
予土線	若井駅 - (4 駅) - 十川駅	
中村・宿毛線	窪川駅 - 若井駅	土佐くろしお鉄道(株)

■ タクシー

地区	事業者
窪川地区	有限会社窪川ハイヤー 新生タクシー 有限会社丸三ハイヤー
大正地区	-
十和地区	有限会社十和ハイヤー十川営業所

## ■ 路線バス

路線名称
窪川－家地川－大正線
窪川－松葉川温泉線
窪川－興津線
窪川－佐賀線
窪川－大野見線
窪川－影野線
窪川－志和線
土佐久礼－七子峠－大野見線
大正駅－ホビー館・奥打井川・北の川・家地川－窪川線
大正駅－健康管理センター－診療所－大奈路－下道・森ヶ内・下津井線
大正駅－十川駅－道の駅とおわ線

運行事業者は株式会社四万十交通

■ コミュニティバス

運行地区	路線名称	運行曜日	運行事業者
窪川地区	払川線	月曜日	株式会社四万十交通
	道徳線		
	奥呉地線	火曜日	
	折合線		
	若井川線	水曜日	
	川ノ内線		
	神ノ川線	木曜日	
	床鍋線		
	東北ノ川線	金曜日	
	飯ノ川線		
大正地区	相去線	水曜日	有限会社丸三ハイヤー
	葛籠川線	木曜日	
	里川線	木曜日	
	芳川線	金曜日	
十和地区	戸口・戸川線	月曜日	株式会社四万十交通
	地吉線	火曜日	
	広井線	水曜日	
	野々川線	木曜日	
	古城線	金曜日	
	大道線	金曜日	

## 四万十町内を運行するスクールバス・診療所バス一覧

### ■ スクールバス

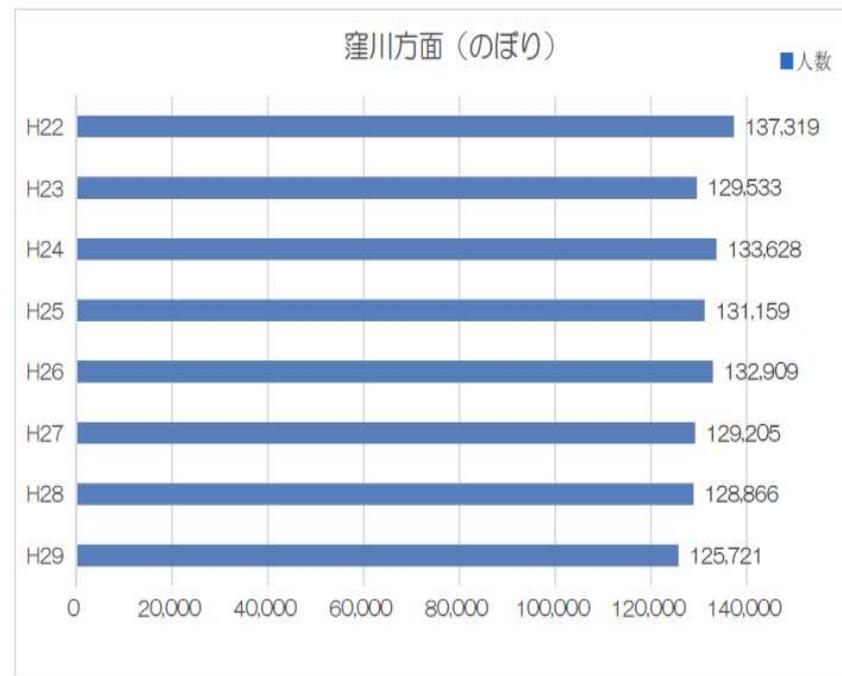
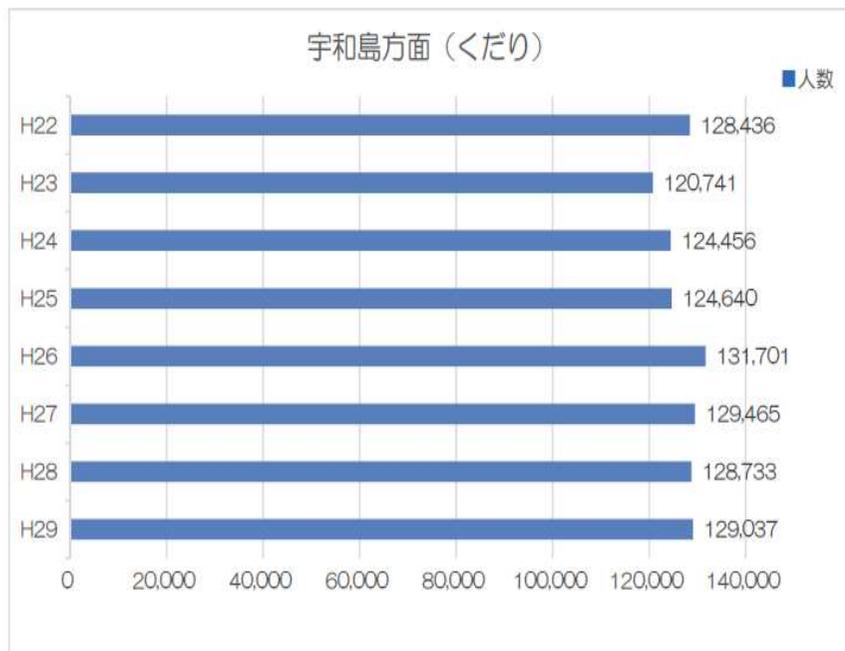
地区	路線数
窪川地区	志和線、床鍋線、飯ノ川線、折合線、若井線、 口神ノ川線、丸山線、家地川線
大正地区	木屋ヶ内線、打井川線
十和地区	里川・浦越線、野々川・八木線、小野・大道線 地吉・古城線、広瀬・井崎線

### ■ 診療所バス

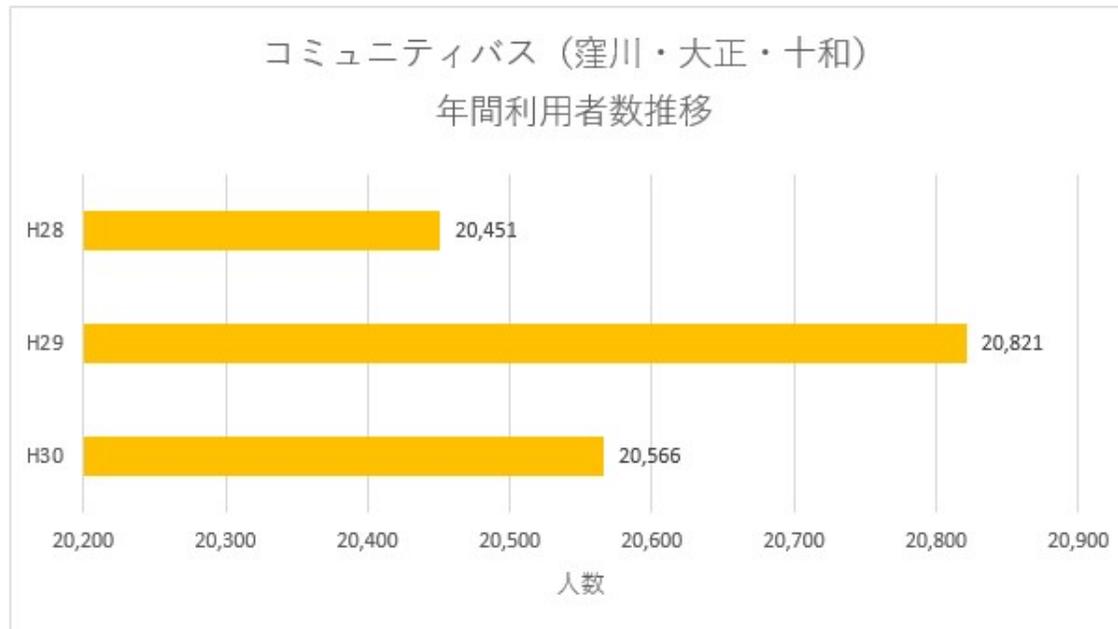
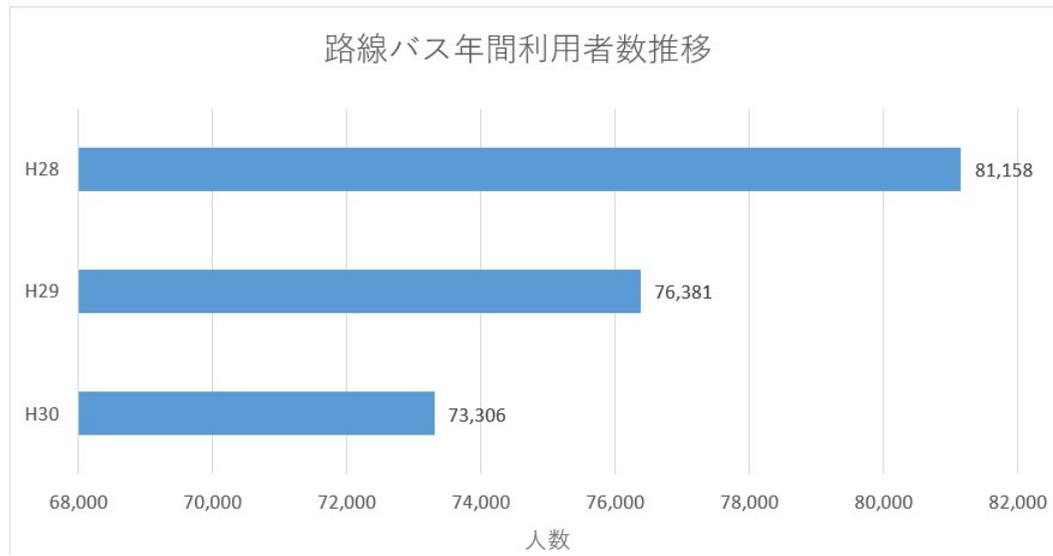
地区	地区
大正地区	葛籠川、里川、打井川、広瀬・上宮、下津井 大奈路、西ノ川、中津川、下道・西ノ川 相去 ※週 1 回、北部は月 1 回～2 回
十和地区	茅吹手、白井川、井崎、古城、小野、地吉 戸川、十川 ※週 1 回

## 2.利用状況について

# JR予土線の利用状況



# 路線バスとコミュニティバスの利用状況



# 現状における課題

## 【事業者の声】

- ・人口減少、少子高齢化や自家用車の普及により経営悪化
- ・コミュニティバスを普及させるほどタクシー事業者に影響が出る

## 【住民の声】

- ・停留所まで歩いていけなくなってきた
- ・既存の路線バスとの料金格差がある

## 【行政の声】

- ・今後、地域の公共交通を維持するため、行政負担の増加が見込まれる